

Mother Earth

【まぎーあーす】2006. 02. 20 vol. 26

発行所 株式会社リガメントワールド
愛知県一宮市せんい2-9-6

URL: <http://www.ligament.co.jp>



肌あれや体調を崩しやすい 春こそ、ていねいな洗顔を!

少しずつ温かくなるものの、寒の戻りで急に寒さに逆戻りしたりと、今の季節の気温や湿度は気まぐれです。さらに3月から急激に増える紫外線も加わって、その影響はお肌を直撃!

春は新陳代謝がよくなり、皮脂の分泌も活発になります。そのためいつもより肌がべたつきがちになります。そこに春特有の花粉やほこりなどを抱えた強い風が肌に吹き付けられますから、汚れをきれいに落とすことが春のスキンケアの基本です。汚れは、皮脂を含んだ脂汚れと、ほこりなどの水溶性の汚れがありますから、クレンジングで脂汚れを、洗顔料で水溶性の汚れを落とすことが、しっかり汚れを落とすポイントです。



リガメント・クレンジングジェル
(水溶性メイク洗顔料)
120g ¥3,675

リガメント・クレンジングジェルは水溶性ジェルタイプのクレンジングです。指の腹でくるくるとマッサージするようになじませると、脂汚れが乳化して、白くホイップ状になり、お肌から汚れを浮き上がらせます。それを、ぬるま湯で洗い流しますから、お肌に負担をかけずにしっかり汚れを落とせます。

次にリガメント・ソープパウダーで水溶性の汚れを落とします。ソープパウダーをよく泡立てて、その泡を指の腹で転がすように洗顔します。泡が水溶性の汚れを包んでお肌から浮き上がらせます。すすぎはぬるま湯で約15回、毛穴を引き締めるために冷水で約5回すすぎます。



水溶性の汚れを落とす

リガメント・ソープパウダー
(パウダー洗顔料)
1.3g × 90包 ¥3,675

元気な髪は元気な頭皮から! リガメントのヘアケア。

男性特有の悩みと思われていた「薄毛の悩み」は、実は女性の悩みでもあり、ここ数年薄毛で悩む女性が非常に増えていると言われています。女性の薄毛の主な原因は「フケ」による菌の繁殖やヘアケア商品による頭皮のトラブルがあげられます。ハリとツヤのある健康な髪を維持するには次の①・②が基本です。

- ①頭皮をきれいにする(毛穴に詰まっている老廃物を取り除く)。
- ②血行促進(毛母細胞が活発に分裂できるように栄養を送る)。

リガメントがおすすめするケアは
①ヘアシャンプー
②ボディローション
③SOD様食品です。



①洗髪

リガメント・ヘアシャンプー

石鹸系の洗浄成分で汚れをしっかりと落とします。が、頭皮に刺激となる石鹼のアルカリ部分を弱酸性洗浄成分で包んで刺激を抑えました。300ml ¥2,730



②保水

リガメント・ボディローション

水道水中のカルキは毛穴を詰まらせ、乾燥の一因になります。そのカルキを中和して頭皮を保水します。200ml ¥2,730



③血行促進

SOD様食品

体内の活性酸素を除去することで血管を詰まらせる過酸化脂質の産生を抑制します。血行を促し、スムーズに栄養や酸素を運びます。3g × 120包 ¥18,900



リガメントのお求め・お問い合わせは下記お店で

LIGAMENT
リガメント

総発売元/(株)リガメントワールド



何でも質問コーナー No.13 春の不安定肌、ケアのポイントは?!

気温の上昇や紫外線の照射量の急増、そして花粉の飛散など、環境の変化でお肌の抵抗力は低下しがちです。そんな春のスキンケアは次の3つがポイントです。

- ①気温が上がると、皮脂や汗の分泌が活発になると、そこに、花粉やほこりが付着しやすいのできちんと洗顔すること。
- ②急激に紫外線の照射量が増える季節ですから、UV商品を使うこと。
- ③入学、就職、異動など環境の変化からストレスを受け、自律神経やホルモンバランスが崩れやすいので、ゆとりをもち、精神的、肉体的な疲れを溜めないこと。

リガメント・モイストチュア&サンリジェクトは、肌細胞が紫外線を浴びて受けるダメージを素早く癒す化粧水です。お子様からご年配の方までお使いいただけます。



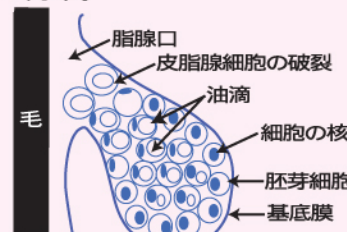
リガメント・モイストチュア&サンリジェクト
(UVカット化粧水)30ml ¥2,835

美容辞典

スキンケアのためにはぜひ知っておきたい用語

皮脂腺

●すべての毛は皮脂腺をもっていますが、活動が活発でない部位もあります。内部の脂腺細胞の中で脂質の合成が行われ、最終的に細胞が破れ、排泄管から毛をつたって皮膚表面に分泌されます。そして同じ分泌されている汗と混じり合って皮脂膜を形成します。皮脂膜は洗顔などで洗い流されます。再度皮脂膜を形成するための皮脂は分泌するのに、季節や個人差、部位にもよりますが、30分から2時間かかります。



成分辞典

難しそうな名前だけど肌には大切な働きをします

グリシン

●グリシンは、アミノ酢酸のことで、アミノ酸の中で、最も単純な形を持ちます。白色の粉末で、においはなく、味は甘い。グリシンは生体内でセリンなどから合成されます。さらにグリシンからクレアチン、グルタミン酸、グリコール酸など生理的に重要な多くの物質が生合成されます。また、グリシンは身体のいろんなところに広く存在します。例えば、皮膚のタンパク質であるコラーゲンを構成しているアミノ酸の3分の1がグリシンです。ギリシャ語の甘い:glykysからこの名前がつけました。

ちょっといい話<第14話> よく噛んで健康維持!

フードコートなどで食事する家族を見ると、子供の早食いに驚かされる場合があります。食生活の変化などで、柔らかいものばかり食べるようになり、あまり噛まずにすむメニューが家庭の食卓でも多くなっている気がします。特に子供の早食いは肥満につながっています。私の子供の頃は、一口食べて30回以上は噛むようにと教えられたものです。噛むことは、食べ物の消化をよくするだけでなく、口腔内の抗菌もしてくれます。食事をゆっくり味わえば、薄味にも慣れやすく、何よりも満腹中枢が働いて食べすぎも防ぐことができます。よく噛むことで子供は歯並びがよくなり、子供も大人も脳の血液循環も良くなります。



あらゆる年代の健康維持につながります。健康なお肌を保つためにもバランスの良い食事はもちろんです。が、よく噛まないでせつかくの栄養は肥満細胞に取り込まれてしまいます。だから噛むということは健康にも、トラブルに負けない強い肌も育むためにも、とても大切なことです。

リガメント・ファン

御社のホームページを見まして、体験VOICEに初めてお便りします。私は小さいときからアトピーがひどく、大人になってお化粧をするようになってからはなかなか合う化粧品がなくて困ってました。「低刺激性」という化粧品を使用しても、定期的に(週に1~2回)顔がかゆくなり、病院の薬を塗って治して、また化粧品を使うという繰り返しでした。あるとき知人に病院を紹介され、またその病院より、リガメントを紹介されて使用したところ、これまでのように定期的に顔がかゆくなることなく、現在ではかなり調子がいいです。本当に感謝しています。

使用している方法は、洗顔後にまずボディローションをつけ、ローションをつけてモイストチュアジェルを2度塗りしています。その上に病院の軟膏を塗り、油とり紙で余分な油をとってパウダーファンデーションをつけています。病院で軟膏は下地代わりに使用していいと言われたので使用していますが、軟膏に代わる下地クリームがあるといいな~と思います。最近ではお風呂上がりに全身にボディローションをつけるようにしています。かなり肌の状態が改善されてリガメントには感謝しています!(A. T 38歳 大阪府)

LIGAMENT Moisture Gel

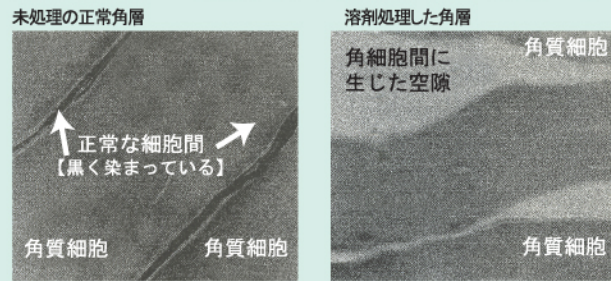
リガメント・モイストチュアジェル(セラミド配合保湿ジェル)

今回はリガメント・ボディローションとローションでしっかり保湿したお肌のうるおいをキープする「リガメント・モイストチュアジェル」です。お肌の水分保持に欠かせないセラミドを補います。

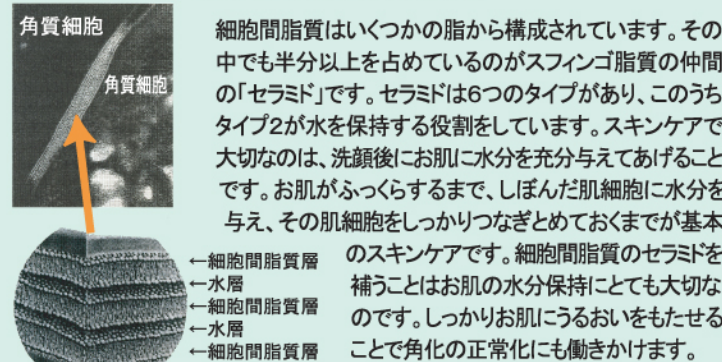
お肌の水分保持に重要な働きをする「セラミド」

お肌の角化の過程で細胞間脂質は作られます。細胞間脂質の成分はコレステロールやコレステロールエステルおよびスフィンゴ脂質です。さてでは、細胞間脂質はいったいどのようになっているのでしょうか？

下記の写真は、有機溶剤で20分間溶剤処理した角質層と未処理の正常な角質層です。未処理の角質層では、角質細胞間に電子密に染色(黒く濃く写っています)される脂質がはっきり写っています。一方、20分間処理された角質層は、はっきりした帯が見られず、細胞間に大きな空隙が生じています。染色部をさらに詳しく見てみると、脂質(白い部分)と水の層(黒い部分)が繰り返した層状に並んでいます。これを液晶構造といいます。細胞間脂質は角質細胞の間に液晶構造を成すことで、水を抱え込んでいるのです。水を保持する以外にも、水を必要以上に透過させない働きや、刺激物質が皮膚に進入するのを防ぐ働きをしています。



細胞間脂の電子顕微鏡による観察(「スキンケアの科学」裳華房より)



細胞間脂質が水を抱え込む様子(「スキンケアの科学」裳華房より)

保湿成分「セラミド」が肌密度をUP! お肌の内側からふっくらお肌へ!

モイストチュアジェルの魅力① お肌の水分を守る「セラミド」を補い、肌密度をUP!

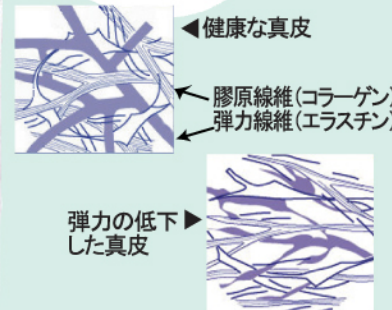
ふっくらした肌細胞をしっかりつなぎとめる役割の「セラミド」を補うことで、肌密度がアップします。きめ細かなお肌で水分を逃さず、刺激を進入させずに強い肌へと導きます。

モイストチュアジェルの魅力② 「卵殻膜」で内側からハリのある肌へ!

モイストチュアジェルには「加水分解卵殻膜」を配合しています。主成分は蛋白質です。卵殻膜は真皮の線維芽細胞と高い親和性があり、皮膚の創傷治癒効果があることは広く知られています。また、皮膚に弾力をもたらせるコラーゲンの産出に効果があるとも言われています。肌の内側からハリのある肌へと働きかけます。



リガメント・モイストチュアジェル(セラミド配合保湿ジェル)120g ¥10,500



モイストチュアジェルの魅力③ 「卵白」で強い肌へ!

もう一つ卵の成分「加水分解卵白」が配合されています。アスパラギン酸やロイシンなどのアミノ酸から構成されています。皮膚形成作用や皮膚へのコンディショニング作用があります。

ご使用方法



全成分

- ・水
- ・BG(アコール類)……………湿潤・抗菌・保湿
- ・グリセリン(脂肪酸副産物)……………保湿・柔軟剤
- ・オウゴンエキス(コガネバナ根)……………抗酸化・抗炎症・抗菌・抗アレルギー
- ・オウバクエキス(オウバク樹皮)……………抗酸化・消炎・抗菌
- ・塩化Na(電解質)……………保湿・ミネラルバランス
- ・塩化K(電解質)……………保湿・ミネラルバランス
- ・塩化Ca(電解質)……………保湿・ミネラルバランス
- ・グルコース(デンプン由来ブドウ糖)……………細胞エネルギー源
- ・セラミド2(コメ・ダイズ由来)……………保湿
- ・ヒアルロン酸Na(発酵法ヒアルロン酸)……………保湿
- ・サクシニリアテロコラーゲン(ブタ皮膚)……………保湿
- ・加水分解卵白(鶏卵卵白)……………保湿・アミノ酸生成促進
- ・加水分解卵殻膜(鶏卵殻膜)・保湿・活酸素除去・細胞賦活・コラーゲン増加促進
- ・グリチルリチン酸2K(カンゾウ根)……………抗アレルギー
- ・水酸化Na(アルカリ剤)……………pH調整剤
- ・カルボマー(水溶性高分子ポリマー)……………増粘剤
- ・DPG(合成)……………保湿・柔軟剤
- ・フェノキシエタノール(ヤナギ由来)……………防腐

モイストチュアジェル使用前のスキンケア

洗顔	整える	保水
<ul style="list-style-type: none"> ●アミノ酸系洗剤 ●糖 ●セラミド2 ★カルキ中和能 	<ul style="list-style-type: none"> ●アミノ酸 ●電解質 ●糖 ★カルキ中和能 	<ul style="list-style-type: none"> ●糖 ●電解質 ●植物エキス
<p>リガメント・ソープパウダー(パウダー洗顔料) 1.3g×90包 ¥3,675</p>	<p>リガメント・ボディローション(カルキ中和全身化粧水) 200ml ¥2,730</p>	<p>リガメント・ローション(高保湿糖類配合美容液) 30ml×3本 ¥7,140</p>

Q&A

Q1.クリームよりモイストチュアジェルの方が肌によいの？

A:どちらがよいということではありません。お肌の状態によって個々にスキンケアが異なります。モイストチュアジェルは水溶性でお肌の通気性や通水性を妨げません。また、油をクリーム状にするための界面活性剤も配合する必要がありませんから、これらの少しではありますが、お肌に負担になるような成分は配合せずにすみます。モイストチュアジェルは、お肌の細胞間脂質に似た成分のセラミド2やブドウ糖、電解質といった成分と、ジェルという形状ですから肌にとっても馴染みやすく、しっかりうるおいを守ってくれます。

一方、クリームは大きく分けると植物性のオイルを大豆レシチンなど植物性の界面活性剤で乳化して作られるものと、石油系の油、いわゆる鉱物油を石油系の界面活性剤で乳化したものの2種類があります。お肌に問題視されるのは後者の鉱物油です。お肌の通気性や通水性を妨げ、角化サイクルを乱す一因になります。また、石油系界面活性剤は皮膚の蛋白質を溶かして滲入していき、肌に乾燥をもたらせます。



肌の保湿のために乳液やクリームを取り入れたスキンケアをおこなっていた方が、モイストチュアジェルだけで保湿しようとすると、中には肌が乾燥した感じを受けられる方もいらっしゃるかもしれません。お肌に必要なのはまず水分ですから、リガメント・ボディローションまたはローションをたっぷり、お肌がふっくらするくらいつけた後、モイストチュアジェルをつけてください。肌が乾燥していると、外部の刺激が入り込みやすく、水分も外気に奪われやすいため、角化サイクルがどんどん乱れていきます。ですから、乾燥がひどい場合は、モイストチュアジェルの後に今まで使われていた乳液やクリームをつけることも必要な場合があります。

そして、乳液やクリームを使う量を徐々に減らしていき、乳液やクリームが必要でなくなれば、それだけで水分を保持する力が出てきたということです。ですから、クリームよりモイストチュアジェルの方がよいということではなく、お肌の乾燥の度合いで、必要なスキンケアが決まり、必要なスキンケアアイテムを知ることができます。

お客様の声

●母がリガメントを使用しています。私はリガメントの洗顔とボディローションの後、別のメーカーの乳液とクリームをつけていましたが、リガメントのローションで肌がかなり潤ったので、モイストチュアジェルとプラスして使うようになりました。始めは肌が乾燥していましたが、徐々に潤いがでてきて、今ではトラブル知らずの肌になりました。乳幼児をもつ私にはスキンケアが楽で助かっています。子供もソープパウダーで洗ってあげると、とても気持ちよさそうです。(まゆ 茨城県 32歳)